

2017-2018

Weekly Bulletin of KAKOGAWA CHUO R.C.

●R.I.会長/イアン・H.S.ライズリー ●地区ガバナー/瀧川 好庸
●会長/大西 淳滋郎 ●幹事/井上 孝明 ●クラブ会報委員長/宮本 鹿司夫
●事務局/〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 800 番地 加古川商工会議所会 5F
TEL 079-421-5152 FAX 079-421-5559 E-mail info@kakogawa-chuo-rotary.club



ロータリー:
変化をもたらす

第 2118 号

平成30年 3月 1日 (木) No 30

ゲスト卓話: 木下 一成氏



★会長挨拶



★ 木下 一成氏



★ 米山奨学生 金 英さん

会長あいさつ

大西 淳滋郎

皆さん こんにちは。去る2月26日にロータリーサロンを執り行いましたところ、週初めで、月末、年度末にも関わりませず、大勢の会員様にご参加頂きまして、心より感謝申し上げます。また、企画して頂きましたロータリー家族委員会の永井委員長、ありがとうございます。次回の観桜会も楽しみにしております。ピョンチャンオリンピックに目を奪われているうち、近づく春の足音をうっかり聞き漏らしておりました。街を歩くと日の光が柔らかくなっています。海からも春の便りが届いておりました。イカナゴのシンコ漁が解禁されました。不漁予想の中、初日の水揚げはまずまずだったらしいです。日本海側の但馬地区では、ホタルイカの漁も始まったそうです。今年も春の幸が楽しみになってきました。

今月は、水と衛生月間です。本日はその道のスペシャリストの木下一成先生にお越し頂いております。勉強させて頂きます。木下先生、宜しくお願い致します。ここで、次年度の米山奨学生をご紹介します。PHD協会からご推薦の奨学生です。保健衛生を専攻ということで、水と衛生に関係致しますので今回ご紹介致します。お名前は、サビナ・ビンスケさん。ネパールのカブレ地区出身。21才。既婚の女性です。2018年4月から2019年3月までが奨学金支給予定期間です。カウンセラーは、西村会員にお願いしております。ロータリークラブ以外でPHD協会から保健衛生を勉強に来られた奨学生を支援された団体の方に確認いたしましたところ、PHD協会の支援で保健衛生を勉強に来られる奨学生は、保健衛生と申しましては看護とかのレベルではなく、歯を磨く習慣、手を洗う習慣、食器の使い方などの生活の基本的な事を勉強に来られる方が多いようです。サビナさんは水などが普通にある日本ではあたりまえ事を勉強してネパールで指導するとの事です。

PHD協会様からの推薦書の一部をご紹介します。

「ネパール大震災から約2年経とうとしておりますが、辺境地区に住む被災者の方々は十分な支援を受けることができずに放置されたままです。サビナさんの地域もまた震災からの復興の途上にあります。地域の生活改善に役立つ農業や保健衛生等の研修が実現すれば震災復興の観点からも大変有意義なものとなります。またサビナさんはそれを担える素質を備えておりますので、米山奨学生に相応しい人材として推薦致します。」と言うことです。推薦書の一部をご紹介します。どうぞ皆様、御協力をお願い致します。また、西村カウンセラーにおかれましては、お忙しいと思いますが、サポート宜しくお願い致します。

話を水と衛生に戻します。ミャンマーに訪問したときに衛生面の大切さを再確認しました。動物も日本のペットと違って、色々な動物と暮らすのも限界があることも感じました。犬もヤングンの町にはそこかしこに住んでいます。これはロヒンギヤの問題とも密接に絡んでいそうです。

また、水につきましては、私達はガソリンより高価な水をペットボトルで飲む時代となりました。将来、水を求めて戦争「水戦争」が起こりそうな気配もあります。本日は、木下先生に水と衛生について色々教えて頂きたいと思います。木下先生、宜しくお願い致します。会長の時間を終わります。